

令和元年度 全国硬筆コンクール課題参考手本

大平 恵理書

青	空	に			
---	---	---	--	--	--

ゆ	び	で	字	を	か
---	---	---	---	---	---

く	あ	ま	の	く	れ
---	---	---	---	---	---

学年

名前

小 二	
--------	--

全体的な

評価の観点

について

正しく書けているか、整(ととの)って書けているか、を考えて書きます。

文字は正しく書けていないと、人にまちがったないようが伝(つた)わったり、まちがったきろくがのこってしまいます。また、整った形でないと読みづらくなります。

文字の正しさとは、何でしょうか。また、整った形とはどんな形でしょうか。

「横画(よこかく)、たて画、点、止め・はね・はらい、おれ、おりかえし、曲(ま)がり、そり、長さ、方向(ほうこう)、外形、筆順(ひつじゆん)、接(せつ)し方、交わり方、中心、画と画の間」などの評価の観点を学びます。

一つ一つの評価の観点を考えて書くことで、文字の正しさを知り、整えて書くことが身(み)につくようになっています。

(課題文は「書文協ことば選定会議」選定・創作)